

(お知らせ)

柏崎刈羽原子力発電所7号機ハフニウムフラットチューブ型制御棒の 動作確認の実施について

平成 22 年 11 月 5 日
東京電力株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

当所7号機の使用済燃料プールに保管している使用済ハフニウムフラットチューブ型制御棒*¹ 1本のタイロッド*²の中央部1箇所、ほぼ全周にわたって微細なひび(最大幅約0.3mm)を確認しました。

当該制御棒や、現在7号機で使用している同型の制御棒25本については、安全上の問題はないことを確認しており、運転中の7号機への影響はありません。

当所は、4号機と5号機、7号機で保管している同型の使用済制御棒52本についてタイロッドの外観点検や、ひびの詳細な破面観察を実施し、ひびの発生に関する原因調査を行うとともに、当所7号機の原子炉内において使用している同型の制御棒25本について、すでに全挿入されている2本を除く23本の制御棒の動作確認を実施することとしておりました。
(平成22年11月1日お知らせ済み)

当所は、現在7号機の原子炉内で使用している同型の制御棒23本について、明日(11月6日)午前10時頃より動作確認を実施することといたしました。

なお、動作確認にあたっては、発電機の出力を110万kW程度まで降下させる予定です。当所は、今後、月に1回の頻度で同型制御棒23本の動作確認を実施してまいります。

以 上

* 1 ハフニウムフラットチューブ型制御棒

高い中性子吸収能力を有するハフニウムを、平たい筒状に成形して中性子吸収材として使用した制御棒

* 2 タイロッド

制御棒の構造部材の一つで、ハフニウムを包んでいる金属板(シース)やハンドルを接続しているもの